

【取組内容①】 Teams・Jamboradを活用した意見の共有

★国語科での活用事例

<活用場面とその効果>

○物語文での内容整理

・グループをつくり、登場人物の人物像を考え、Jamboardにて付箋を作成し、意見の共有を行う。

→**全員が授業に参加し、意見を出すことができる！**

同時に**他の班の考えもリアルタイムに共有**を行うことができる！

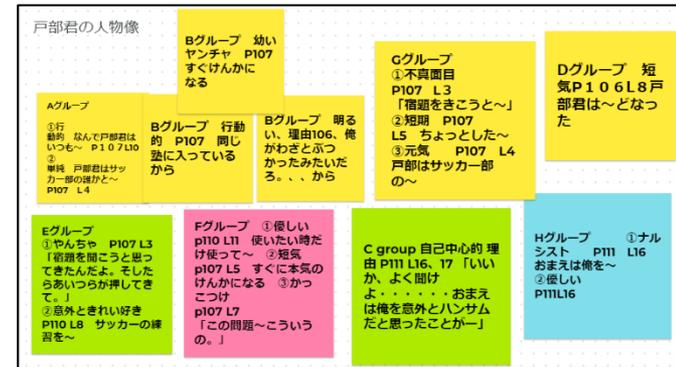
付箋を動かせるので、**同じ内容でグルーピング**できる！

○詩の読解

・詩を読み、感じたことなどを、各クラスのチーム内に内容ごとに作成したチャンネルへ入力をする。

→全員が打ち込むことで、**一人一人が主役となり、授業に参加**することができる。

他の生徒の意見に対しては、**スタンプで反応**することで**共感を得る**ことができる！



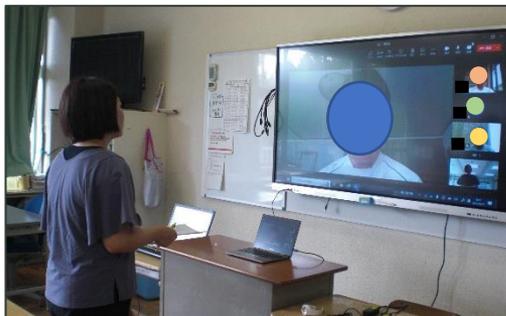
## 【取組内容⑤】 感染症に伴う学年閉鎖の際のオンライン授業

9月に学年閉鎖となった学年に対し、

Teamsの会議機能を活用して「オンライン朝の会」・「オンライン授業」を行った。

## &lt;実施内容&gt;

- 朝の会・・・事前にメール配信で時間を伝え、ミーティングに生徒を入室をさせる。  
出欠と体調の確認を行い、課題などの連絡事項やその日の予定を確認する。
  
- オンライン授業・・・「道徳」と「社会」を実施する。
  - 「道徳」→ インターネット上の動画を生徒に画面共有させ、視聴し、感想を書かせる。
  - 「社会」→ 公民の授業を行う。
    - ・インターネット上の動画教材を画面共有で視聴する。
    - ・ブレイクアウトルームを事前に作成しておき、グループで話し合いを行う。
    - ・話し合いの内容をJamboardにまとめ、全体で共有しながら代表が発表する。



## リーディングDXスクール事業【実践事例】

※山武市立山武中学校。

### 【取組内容①】 教室へ入ることのできない生徒の授業への参加

本校では、教室に入ることが難しい生徒は「適応指導教室」にて日々学習を行っている。その学習にTeamsの会議機能を活用して、授業にオンラインで参加をすることを行った。

#### 【リモート授業を取り入れるまで】

- ・「適応指導教室」では、在籍学級の日課にある教科に取り組み、適応指導教室担当教師やその教科担当が個人に応じた学習支援を実施することを基本としている。
- ▲ 授業から離れてしまうため、クラスに戻る際に授業の内容が全く分からなくなってしまう。
- ▲ 授業でのプリントなどは手元へ届くが、自分で調べて行わなければいけない。

#### 【リモート授業導入後】

- ・5教科の授業の際には、**教室とTeamsをつなぎ、授業に参加**する。
- ◎ 授業と同じことができるため、**教室復帰の際に学習に取り組みやすくなる**。
- ◎ 授業の**プリントなども教室にいる生徒と同じタイミングで実施**することができる。

**【取組内容②】 動画教材を利用した授業**

社会科や国語科などいろいろな教科で、動画教材を利用した授業をおこなっている。

**●主に使用している動画教材サイト**

「NHK for School」、「NHK 高校講座」、「Youtube」

**●使用時の工夫****<社会>**

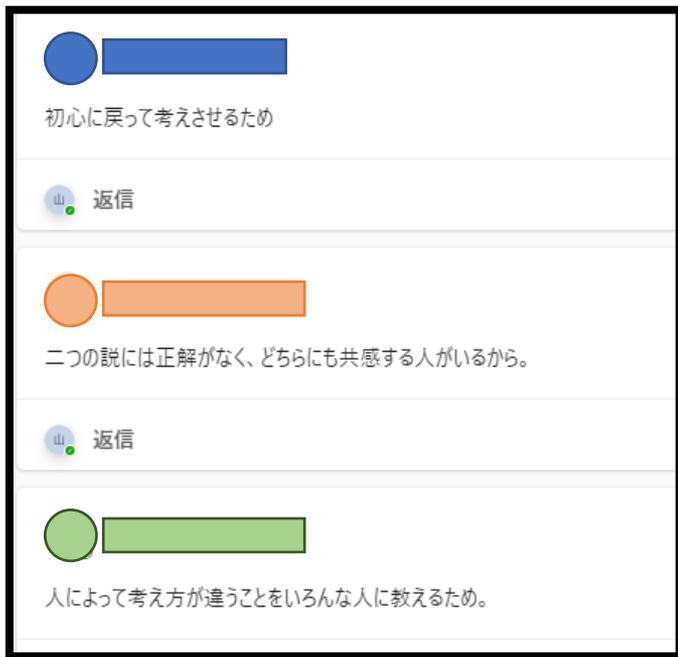
- ・NHK 高校講座を使用する際に、すべての内容を見せるのではなく、中学生にもわかりやすい部分を流している。
- ・Youtubeの動画サイトでは、ニュースの映像など、タイムリーな内容を行っていく際に多く使用している。

**<国語>**

- ・作品の内容理解を深めるために、古文等の題材において、映像資料を用いている。

## 【取組内容①】 全員が参加できる道徳科の授業を目指したTeamsの活用

- 導入での意見集約では、Teams上にFormsの簡単なアンケートを作成し、生徒に回答してもらうことで、全体の傾向をすぐにつかむことができる。
- 発問に対する意見をチャットに打ち込みをさせると、  
全員の考えをすぐに共有することができる。



## ＜変化と課題＞

◎ 意見を発表する形では、挙手や、発言をしない生徒でも、**チャットへ意見を投稿することに対しては抵抗なく行え、他者の考えを共有できた。**

▲ 入力のスピードが生徒によって大きく異なるため、全員が意見を上げるまで待つことができないこともあった。  
(対応) 生徒は常に画面が見られるため、遅くなってもよいので打ち込むように指示を出した。

## リーディングDXスクール事業【実践事例】

※指定校名を記載してください。

## 【取組内容⑤】 生徒会活動の計画や予定の共有などをOne NoteやTeamsを活用

- 生徒が主体となって行う集会などで発表内容を決める際に、事前にOne noteで意見の集約を行っておくことができるようになった。

## &lt;変化と課題&gt;

- ◎今までは、集まってから意見を出し、内容を決定していたが、事前に意見を出し、ほかの生徒も共有できるため、**ミーティングの回数を減らすことができた。**
- ◎結果として、**生徒会活動を行いながら、他の活動時間を確保**することもできた。
- ▲他者の意見が見えるため、後から入力をする人が他の生徒の意見に影響を受けてしまうことが考えられる。  
→事前に自分自身の意見をしっかりともちつことの大切さを指導した。

## ☆3学期生徒集会

今まで委員会の発表後、生徒会からも発表を行っていました。

今回もその時間を作る予定です。

そこで、全体の生徒に向けてどのようなことを発表したいかの意見をください。出してもらった意見をもとに、月曜日の朝ミーティングを行い、詰めようと思います。

具体的に書いてくれると話合いがしやすくなると思います。よろしくお願いします。

## &lt;生徒会本部の発表内容案&gt;

名前	内容
	リサイクル・募金についてのクイズ(ペットボトル・義援金と支援金についてのクイズ等々)※生徒会公約を示唆させ、基礎知識をつけといてもらうため。
	募金・ペットボトルキャップについてのクイズ 生徒会を知ってもらえるような
	公約についてのクイズ
	募金についてのクイズなど(義援金がどのように使われているのかなど、関心を持ってもらえるようなクイズ)
	募金についてや、ペットボトルキャップについてと公約のクイズ
	募金、ペットボトルキャップの使われ方のクイズ
	募金や生徒会を知ってもらう(募金はどこに送られるかなどの詳しく説明する生徒会はクイズなどで知ってもらう)